

令和7年3月議会 宇都宮市議会定例会報告

宇都宮市議会では、令和6年9月議会の一般質問から「会派持ち時間制」が導入され、各定例会に登壇する質問者は20分、40分、60分のいずれかを選択することになり、3名以上の会派には、「代表質問」の1名のみ10分間を加算できるようになりました。

代表質問 70分 福田 智恵

質 問 項 目

1 市長の政治姿勢について

- 1) 令和7年度予算案の編成
- 2) JR宇都宮駅前整備とライトラインのJR宇都宮駅西側延伸
- 3) 女性の活躍推進

2 夜間休日救急診療所について

3 こども若者政策について

4 共生社会の推進について

5 防災・減災について

6 まちづくりと自治会条例について

7 教育行政・不登校いじめ問題への対策強化について



福田智恵市議
録画配信HPの
QRコード

質問及び答弁（抜粋）

1 3) 女性の活躍推進について

Q 市は女性活躍推進官を設置し、総合政策部に女性活躍推進課を新設予定だが、産業政策やこども政策など女性が社会で活躍するためには部局横断的な取り組みとあらゆる施策にその視点を取入れることが重要である。本市では、若年女性の流失が増加しており、女性特有の健康課題も指摘される中、どのように女性活躍を推進するのか伺う。

A 【市民まちづくり部長答弁】新体制のもと、女性特有の健康課題をテクノロジーで解決するフェムテックの活用促進に向けた企業向けセミナーの開催やコンサルティングの実施など、女性が活躍できる職場環境への補助に取り組むとともに、女性活躍担当専門員の知見を活かした分野横断的な施策・事業を検討するなど、全庁一丸となって取り組む。

2 夜間休日救急診療所について

Q 年末年始の9連休中に最大8時間待ちが発生し、診療人数の制限を余儀なくされた。市は実態を把握し、診療オペレーションの改善や看護師・事務スタッフの増員、臨床検査技師等の配置を行うとともに、医療DXを活用した診療体制の効率化を図るべきだと考えるがいかがか。

5 南北の地域を結ぶコミュニティバスの導入について

質問及び答弁（抜粋）

1 市長の政治姿勢について

1) 新たな産業団地の整備

Q 本市では、「インターパーク東地区」（西刑部、平塚町）と「宇都宮工業団地東地区」（平出、下平出町）に新産業団地を整備し、「2030年代前半」を目途に分譲を開始しようとしているが、現時点でそれらの規模はどの程度を見込んでいるのか伺う。

A 【経済部長答弁】事業区域については、両地区とも30ヘクタール余の規模となり、2地区合わせて概ね70ヘクタールを見込んでおり、この区域内に45ヘクタールの分譲用地を確保したい。

Q そうなると、宇都宮工業団地東地区は、候補地70ヘクタールの内、半分程度しか該当しないことになるが、地権者説明会等で区域外の方から用地提供の希望が出た場合は事業区域を拡大する可能性はあるのか。

A 【経済部長答弁】協力してくれる地権者が増えるようなら拡大する可能性はあるが、随

A 【保健福祉部長答弁】市医師会等の関係機関や診療所の従事者と意見交換を進めており、今後、人員配置の見直しを進めるとともに、電子カルテや自動精算機などについても速やかな導入に向けて検討する。

5 防災・減災について

Q 防災力の向上には、支援が必要な方々が地域防災計画や地区防災計画の策定に関与し、避難訓練にも参加することが不可欠であると思うがいかがか。

A 【保健福祉部長答弁】地区防災計画は住民等が主体となって策定しており、要支援者の避難行動に大きく影響することから住民意見を踏まえ検討する。全ての地区で実効性のある避難訓練が実施できるよう取組事例の情報発信に努める。

Q 障がいのある子どもや乳幼児、その家族にとっては、安心して避難できる「福祉こども避難所」が必要であると考えるが、このような避難所の設置について見解を伺う。

A 【子ども部長答弁】本市では全ての避難所を福祉避難所としているが、環境の変化への適応や避難所で他人と生活するのが困難との声が寄せられているので、関係機関と意見交換を行うとともに避難のあり方について検討していく。

時、地権者の意見を聞きながら7年度内に事業区域を確定していきたい。

3 スポーツ振興について

1) 東部地域における屋内プール

Q 7年度予算に「東部地域における屋内プールの整備費用」が計上されているが、このプールはどこに設置しようとしているのか伺う。

A 【魅力創造部長答弁】スポーツを活用したまちづくりビジョンの中で「東部スポーツウェルネスライン」と位置づけたライトライン沿線に複数の整備候補地を定め、これらを比較検討しながら7年度早期に設置場所を決定する。

5 南北の地域を結ぶコミュニティバスの導入について

Q 岡本駅～平石中央小学校前停留場～雀宮駅を往来する「南北コミュニティバス路線」を整備すべきと考えるがいかがか。

A 【総合政策部長答弁】まずは新設バス路線の利用定着を図り、引き続き、利用者ニーズの把握に努めながら、鉄道・ライトライン、バス、地域内交通が連携した公共交通ネットワークを構築していく。

個人質問 60分 郷 間 康 久

質 問 項 目

1 市長の政治姿勢について

- 1) 新たな産業団地の整備
- 2) コメの価格高騰対策
- 3) 職員の人材確保とメンタルヘルス対策

2 東部総合公園（アークタウン宇都宮）について

3 スポーツ振興について

- 1) 東部地域における屋内プール
- 2) 相撲を活用したスポーツ振興策
- 3) 高齢者向けスポーツの支援

4 環境行政について

- 1) 東横田清掃工場跡地の活用
- 2) 農林業分野の脱炭素化と「25%有機農業」の実現



郷間康久市議
録画配信HPの
QRコード

接アクセスでき、田川につなぐ歩行者動線を、1階に整備される駅前交流広場を含めて面的に整備する必要があると考えるが、交通・交流・景観の観点で歩行者動線に対する考え方を伺う。

A 【都市整備部長答弁】JR宇都宮駅西口周辺地区においては、「まちなかと駅をつなぐ、人と各交通モードが共存した人中心のウォーカブルな空間」を目指している。

歩行者動線については、信号の無い横断歩道による人と車の交錯解消を図ることを基本に、1階レベルはバスやタクシー、一般車の動線を南北に分離し、中央に交流広場を設けることにより、多方面へのフレキシブルな歩行者動線を確保するとともに、2階レベルはベデストリアンデッキを活用し、ライトライン停留場や周辺街区、田川・まちなか方面との歩行者動線を確保するなど、誰もが安全・安心・快適に移動できる回遊性の高い歩行空間の創出について「JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定懇談会」などにおいて検討している。

今後も、多くの関係者と議論を重ね、「交通」と「まち・水・緑」が調和した、賑わいや交流が生まれる人中心の居心地の良い駅西口周辺地区の整備に取り組む。

Q ライトラインの西側延伸を基軸に官民連携によるまちづくりを推進するなか、大通り沿線の

まちづくりについて、50年先・100年先を見据えて、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

A 【都市整備部長答弁】現在、ライトラインの駅西側延伸の期待感などから、JR宇都宮駅西口周辺の再開発事業や本市初となる優良建築物等整備事業、バルコ跡の活用などの大規模な事業が進められている。また、大通り沿線においては複数の街区で再開発などの勉強会が開催されており、事業化に向けて検討しているところである。

こうした民間開発等の活発化を好機と捉え、まちの機能の充実や良好な景観を有する街並みの形成につながる市街地再開発事業などへの支援に取り組むとともに、「東武馬車道通り」や「パンパ通り」などにおいて、休憩や飲食ができる場、子どもたちが遊べる場を設けるなど、行き交う人々が楽しめる居心地の良い空間づくりに取り組んでいく。

こうした取り組みを大通り沿線全体に広げることにより、50年先・100年先を見据えた人中心のウォーカブルなまちの実現に取り組む。



本市が描く JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ

次回 令和7年6月議会質問予定者
中塚英範・大久保順也・佐藤孝明

私たちは皆様の声を市政に活かします!!